



東大医科研 安全衛生教育セミナー

～ 喫煙対策と生活習慣病 ～

日時： 2012 年 10 月 10 日（水） 17：40～19：30

場所： 医科学研究所 1 号館 講堂

事前参加登録不要

1. ご挨拶 齋藤春雄 東大医科研教授、安全衛生管理室室長
2. 医科研産業医によるレクチャー
鯉渕智彦 東大医科研附属病院講師、感染免疫内科科長
山川彰夫 東大医科研特任教授、学術アドバイザー長
3. 講演「喫煙という生活習慣のリスク ～喫煙・受動喫煙と生活習慣病～」
村松弘康 武蔵野大学客員教授、中央内科クリニック院長、
東京慈恵会医科大学呼吸器内科非常勤講師

東京大学医科学研究所では、約 1000 人の教職員、大学院学生、研究者、医療スタッフ等が、港区白金のキャンパスで日々医科学研究と先端医療の実践およびその支援に励んでいます。その「職場と学びの場」の安全衛生を守るために、医科研安全衛生管理室・衛生委員会は産業医と連携して、様々な活動を行っています。産業医の職務の目的は、職場における健康障害の予防と労働者の心身の健康保持、増進に資する事で、その活動は労働安全衛生法により規定される 3 管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）と「総括管理」に「労働衛生教育」を加えた「5 管理」に分類されます。このたび、その「労働衛生教育」を目的とした「安全衛生教育セミナー」を開催することに致しました。

はじめに研究所産業医 2 名から、それぞれ「産業医と労働衛生～産業医活動とは？」と「東大医科研の職場安全・喫煙対策」と題し、白金キャンパス「全面禁煙化」等の最近のトピックスに関するレクチャーを致します。

外部講師としてお招きする村松弘康先生は、禁煙支援・教育活動にご経験の深い呼吸器内科医で、6 月末の医科研病院市民公開医療懇談会では「アンチエイジングのための禁煙」について印象深い講演をして頂きました。今回は喫煙という生活習慣リスクと受動喫煙を中心にお話し頂きますので、前回講演を聴かれた方もどうぞまたお越し下さい。

研究所と病院の教職員はもとより、大学院生、若手研究者や、外来・入院患者様、関連業者の方などに加えて、講演内容にご関心のある学内・学外の多くの方々の参加を歓迎致します。

（主催：東京大学医科学研究所 安全衛生管理室・衛生委員会）